

Unce upon a time in Utsunomiya

# 一枚の絵葉書から 石井敏夫コレクションより 第26回

県庁前通りのにあった栃木県商工奨励館

## 栃木県商工奨励館



かつて宇都宮小学校連合教育所が発行した「宇都宮読本」に、「大きなドームをつけた壮麗な建物。大理石、化粧レンガで貼

りつめた清楚な陳列室」と記された建物があった。一九二八（昭和三年）四月に竣工した栃木県商工奨励館（商品陳列所）である。その場所は、現在の栃木会館周辺。鉄筋コンクリート二階建て、洋風建築で、八百席の公会堂を併せ持つ栃木県初の文化施設であった。奨励館の玄関は県庁前通り（現中央通り）に、公会堂の玄関はその東通りに面するT字型の建物で、その左右に宇都宮

郵便局と公共職業安定所が隣接していた。

開館を記念して栃木県商工連合会主催の工産品共進会が、満開の桜の中、四月十四日より二十九日までの二週間、商工奨励館をはじめ三会場に分けて盛大に開催された。第二会場は栃木県会議事堂、第三会場は同じく四月に竣工した宇都宮商工会議所があげられた。

工産品共進会とは、今でいう見本市と展示即売会を兼ね併せたもの。近隣から多くの買い物客が訪れ、大いに賑わったという。期を一にして公会堂では宇都宮市協賛会が「余興演芸会」を開催。そのポスターによれば、昼の部の入場料は大人十銭。午後一時から中央見番藝妓による長唄や義太夫が行われたことが分かる。また、夜の部は午後六時からオーケストラ、琵琶、箏曲などの鳴り物が盛大に競演し、夜桜見物の足を止めた。共進会開催に併せて県庁前通りの入口、日野町交番前、宇都宮駅前には大アーチが設けられるほどの盛り上がりを見せた。仲見世に続く右下の写真がそれである。



日野町交番前の大アーチ



1955（昭和30）年落成の栃木会館

また、商工奨励館に続く郵便局前には白亜の門が、そしてその通りの両側にはボンボリが点ざれ、「夜の祇園を移した様な県庁前」（下野新聞）と報じられたほど。商都宇都宮ならではの賑やかな光景だったに違いない。（参考文献『宇都宮市史』）

商工奨励館は一九四五（昭和二十）年七月の宇都宮空襲による戦災からも免れ、戦後は一時、市役所や宇都宮郵便局の仮庁舎として使用されたが、新たに持ち上がった文化会館と県立図書館建設計画により一九五四（昭和二十九）年十月取り壊されたのちに落成したのが現栃木会館である。